

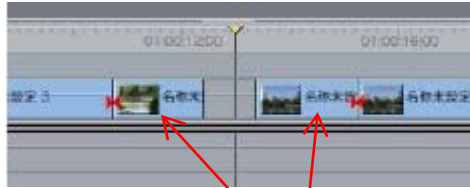
FxScript Trial

3D RollingCube

- ・ トランジッションの設定
- ・ プラグの機能

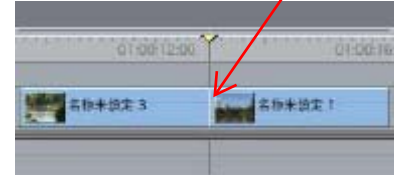
トランジッションの設定

まずプラグをライブラリー→Application Support→Final Cut Pro System Support →Plugins に入れる。
そしてFCPを立ち上げる。(FCPはプラグを起動したときしか読まない)

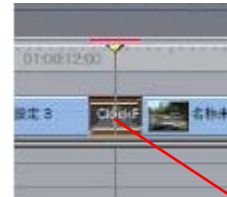


トランジッションは前後カットとも
のり白がないと効果が成り立たない
前後の絵のエフェクト中点でカットする

両サイドカットした絵を寄せたところ



フィルターがセットされたので
ビューアーのフィルターを押す。

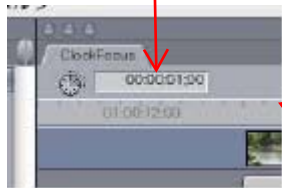


次にシーケンス上の映像をクリックして上
方のエフェクト内のトランジッションを
選びFxScript Trial内の効果を選択する。



選択した効果の midpoint がキャンパスに見える

エフェクト時間設定

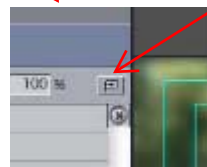


開始や終わりのタイミングの設定
通常あまり使われない



トランジッションの操作盤が現る

ここを押すと効果が逆に



FxScript Trial

3D RollingCube



3D RollingCubeの特徴は2面、3面、4面キューブが動きながら縮小し時間軸の midpoint で再び拡大する効果です。あまり縮小するとジャギングやズレなどが目立つ場合もありますので注意が必要です。また回転モードを付け加えましたが平面系と3次元系の回転エンジンの混合により画像の一部がヌルっとした感じになる事があり更に背景画像とのジャギング処理はされていますがCube内部の処理はしておりませんので画像が斜めになるとCube内で出やすくなる傾向がありますのでお気をつけ下さい

RollingCubeのバック位置を設定します。0,0は中心にバックします。

2~4面キューブの選択です。

上下左右のスピン方向の設定をします。

奥行きは戻るときの大きさを設定できます。数値大で小さくなります。

パースは画像のパースを強調して迫力を出します。

回転は左右の回転を設定できます。回転時に奥行き値が大きいとヌルっとした感じが出てきますのでご注意ください。

Cubeの2~3カット目の映像入力です。(クリップから撮んでください)

2~3カット目映像のカット・イン点の調整です。(フレーム入力です)

映像入力がない場合のダミー色です。

背景映像の映像入力です。(クリップから撮んでください)

背景映像のカット・イン点の調整です(フレーム入力です)

映像入力がない場合のダミー色です。

効果動作を通常、早い、遅いの選択ができます。

ボーダーは数値を入れると自動的につきます。

ボーダー色です。

デモ映像はここをクリック